

令和6年度国立大学法人東京海洋大学第9回教育研究評議会議事要録

日時 令和7年1月14日(火) 15時33分～16時59分

場所 白鷹館多目的スペース1(品川地区) 及び webexによるビデオ会議

出席者 井関学長、

舞田理事、金岡理事、村上理事(兼:事務局長)、

岡安副学長(兼:学術研究院長)、婁副学長、

後藤海洋生命科学部長、元田海洋工学部長、

宮本海洋資源環境学部長(兼:附属図書館長)、兵藤海洋科学技術研究科長、

佐野評議員、遠藤評議員、神谷評議員

オブザーバー:藤原監事、加藤監事、

黒瀬学長補佐、廣野学長補佐、南学長補佐、

坂本水圏科学フィールド教育研究センター長、

吉崎水圏生物生産工学研究所長

事務担当者:永井総務部長、塚本財務部長、中馬国際・教学支援課長(学務部長の代理)、

ほか事務関係者

議事に先立ち、前回会議の議事要録を確認した。

審議事項

1 国際交流協定等の更新について(台湾:台湾海洋大学)

舞田理事から、資料1に基づき、国際交流協定等の更新について(台湾:台湾海洋大学)説明があり、審議の結果、原案通り承認した。

報告事項

1 「国立大学法人東京海洋大学における研究活動上の不正行為の防止及び対応等に関する規則」の一部改正について

舞田理事から、資料2に基づき、令和6年12月4日開催の教育研究評議会において、原案を一部修正することとし承認した、「国立大学法人東京海洋大学における研究活動上の不正行為の防止及び対応等に関する規則」について、修正した内容の報告があった。

2 東京海洋大学研究データ管理・利活用ポリシー解説の決定について

岡安副学長から、資料3に基づき、令和6年12月24日開催の研究戦略委員会において決定した、東京海洋大学研究データ管理・利活用ポリシー解説について報告があり、意見交換を行った。

主な意見等は次のとおり

- ・今年度の退職者についての扱いはどうなるのか。
→ 退職前に何らかの連絡を行う。
- ・利活用するための指針や人員が必要となる。
- ・メタデータ情報を集めてカタログ化することから始めることになると思う。

3 諸会議等の報告について

(学長)

- ・海の研究戦略マネジメント機構研究戦略委員会
- ・海の研究戦略マネジメント機構運営委員会

(舞田理事)

- ・公正研究推進室会議

研究不正防止に関する研修会の日程調整中であり、開催にあたっては部局長、部門長は対面で参加いただきたい旨の依頼があった。

- ・全学教育・FD 委員会
- ・学生支援委員会
- ・全学入学試験委員会
- ・グローバル教育研究推進委員会

(金岡理事)

- ・保健管理センター運営委員会

(婁副学長)

- ・キャリア支援センター運営委員会

4 その他

学長から、令和7年1月16日(木)昼に、全学集会をオンラインで行う旨の周知があった。

以上

(配付資料)

○令和6年度国立大学法人東京海洋大学第8回教育研究評議会議事要録

資料1 国際交流協定等の更新について(台湾:台湾海洋大学)

資料2 「国立大学法人東京海洋大学における研究活動上の不正行為の防止及び対応等に関する規則」の一部改正について

資料3 東京海洋大学研究データ管理・利活用ポリシー解説の決定について